

会議概要報告

1. 会議の名称	令和3年度第2回潟上市男女共同参画推進審議会
2. 開催日時・場所	令和3年11月17日（水）午後1時28分～午後2時17分 潟上市役所4階 大会議室
3. 委員等の人数	11人
4. 出席委員等の人数	10人
5. 議題	令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案）について
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	資料 令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案） 参考資料1 広報掲載内容 参考資料2 令和3年度男女共同参画研修会チラシ

【会議要旨】

令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案）について

- 今回の研修会の演題が、誤解を招くような表現となっているため、研修会の中で意図を十分に話してほしい。
- 会議及び各種イベントにおいて、リアル参加とオンライン参加の両方が可能である「ハイブリッド化」を進めてほしい。
- かたがみ男女共同参画フォトコンテストのような企画をぜひまたやってほしい。
- それぞれの地域で研修会を開催すれば、男女共同参画の意識が浸透しやすくなるのではないか。

【会議録】

1. 開会

●司会（企画政策班長）

ただいまから令和3年度第2回潟上市男女共同参画推進審議会を開催します。

2. 会長あいさつ

●司会（企画政策班長）

それでは、会長より御挨拶をお願いいたします。

○会長

本日は、大変お忙しい中、御出席を賜りましてありがとうございます。

先日、秋田県理事の陶山さなえ氏の講演会を聞くことができまして、男女共同参画社会がどういった社会であるかイメージはしておりましたが、男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野において活躍できる社会をつくり上げることだと確信いたしました。職場に活気が生まれ、家庭生活の充実が図られ、そして地域力の向上につながる社会が生み出されるものだと、講演会を聞いて改めて確信いたしました。

一人ひとりが豊かな人生を歩めるように今後とも皆様からの絶大なる御協力と御支援のほど、よろしく願いいたします。

●司会（企画政策班長）

ありがとうございました。では、次に協議事項に入りますが、先に本日の資料を確認させていただきます。

事前送付資料として、会議次第、委員名簿、資料_令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案）、参考資料1_広報掲載内容、参考資料2_令和3年度男女共同参画研修会チラシを皆様にお渡しいたしました。

また、当日配布資料として、席次表を皆様にお配りしています。

不足等がありましたら、予備がありますのでお知らせください。

御発言の際には、係のものがマイクを持って伺いますので、挙手をお願いいたします。

それでは協議に移ります。会議の進行は会長よりお願いいたします。

3. 案件

令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案）について

○会長

それでは、協議に入ります。案件、令和4年度男女共同参画関連実施予定事業（案）について、事務局より説明をお願いします。

●事務局

（事務局説明）

- ・今年度は7つの事業を予定している。
- ・DV防止啓発事業については、成人式と社会福祉大会がともに中止となったことから、啓発活動は実施していない。来年度、開催される場合には実施する予定。
- ・来年度は市役所職員向け研修会を実施する予定。
- ・事業者向けの女性の活躍推進に関する啓発は、チラシを配布する方向で検討中。

○会長

ただいまの説明について、御質問等がありますか。

（質問等無し）

御質問等がないようですので、案件を終了いたします。
案件は終了しましたが、委員から一言ずつお願いいたします。

○委員

今年度も男女共同参画推進の事業を進めていただき、私自身も潟上市民ですので、ありがたいと思っております。

恐らくこれから、来年度からも通常通りの対面形式で講座などを開催することができるかと思いますが、市の方針も含めてどのようになっているのか、お伺いしたいです。

●事務局

参考資料2のチラシが今年度の男女共同参画研修会の御案内となります。現時点では対面形式を予定しておりますが、このあと新型コロナウイルスの感染が再拡大し緊急事態宣言等の事態になりましたら、開催方法を含めて検討していくことになります。

○委員

分かりました。オンライン化も進めていただき、できるだけオンラインでも参加ができるようになれば良いと思っております。対面で話し合える機会があれば、それもまた気づきや学習を深める機会となりますので、それはそれで進めていただきたいと思います。

また、今年度の研修会について、演題の副題にある「頼るは恥だが役に立つ」に違和感を感じています。今年度の研修会のテーマだと思うのですが、なぜ頼ることは恥なのか疑問に思いました。こう思ったのは、中央男女共同参画センターにお越しになる、あきたF・F推進員からも「潟上市で研修会が開催されるけれど、このテーマは誰の発案なのだろう」という話が出たためです。受取方によっては誤解を招くと思いますので、もしよろしければ、どのようなお考えがあってこのテーマに決定したのか、お聞かせいただけたらと思います。

●事務局

今年度の研修会のテーマは、表題となっている「家族みんなで考える役割分担」です。育児や家事などを一人で抱えてしまう人はたくさんいらっしゃると思います。そういった人たちが一人で抱え込まないように、みんなで役割分担するというテーマです。

演題は講師と相談をして決定したものです。「頼るは恥」という根本的な意識の改善を目的としており、頼ることは恥ではないこと、育児や介護などを家族や地域、様々なサービスを利用して頼ることの意識浸透を図るため、あえてこういった表現を使いました。

○委員

この表現では恥であることを肯定しているように見えるので、研修会では事務局が話された内容を十分に話していただきたいと思います。センターの利用者の中には、固定的な役割分担の意識の中で頑張っている人もいらっしゃいますが、そうではなくて例えば家事シェアで家族の中で分け合うなど、自分を大切にする意味で頼っても良いというあたりを、ぜひ市民の意識にも根

付かせてほしいと思っています。

○委員

研修会の講師を務める林さんを紹介したのは私であるため、演題が決まった経緯も聞いています。私は聞いたときには、面白い演題をつけたと思いました。

私たちはファザーリング・ジャパン東北という団体で、基本的には子育て世代のお父さん向けに講演などしていますが、お母さんのワンオペ育児を無くしたいという思いもあります。私たちの立場から、ワンオペ育児は好きでやっているわけではない、助けを求めたいけれどもも求めるための勇気が持てていないといったことを若干感じます。そういったときに普段の講演会などでも誰でも頼って良いということを、子育て世代に限らず話しています。今回の演題は、数年前に話題となりました人気ドラマのタイトルからきており、まさにこのドラマを見ていた世代に1番聞いてほしい内容となります。

一人で抱え込み、育児をしている方々は頼ることを悪いことと感じてしまうので、そういったことがないように普段の講演会などで子育て真っ最中の皆さんに、頼ることは何も悪いことではないということを話しているのですが、なかなか伝わっていない、広がっていないと感じることが多々あります。個人的には、演題の付け方は好きでお父さんの視点かと思いました。これをきっかけに、お父さんにも興味を持ってもらい聞いてみようという意識になったら、まず良いのかなと考えています。もしかすると捉え方に世代間の違いがあるかもしれませんが、補足させていただきました。

もうひとつ、先ほどの話に関連しますが、私も今年1年間コロナ禍の中で講演会を実施し思ったことです。これからは、参加者を募集する最初の段階からオンラインとリアルを開催を同時並行で行うという考えで良いと思います。

リアルでの参加は会場へ赴き聞くというメリットがありますが、会場へ行かなくてはならないというデメリットもあります。オンラインでの参加もできると、自宅でも聞くことができますし、もしかするとスマートフォンがあれば外出先などどこでも見られるので、参加が気楽になる方もいらっしゃると思います。そういった意味では、今回はリアルでの参加のみですがオンラインでも参加ができるようにすれば、研修会に参加する人も増えると思っています。私たちの団体も今、リアルだけではなくオンラインとの両方で参加者を同時に募集するハイブリッドで、誰でも好きなように参加ができるということを広めて、イベントを開催していくつもりです。このためには工夫も必要ですが、市で実施する場合にはそのあたりのことも含めて考えていただくことがあると思います。それでも、今後は基本的にハイブリッドが主体になっていくと思いますので、その方が良いと思い意見として話させていただきました。

○会長

ありがとうございます。

そうですね。こうした会議の場に参加はできないけれども、自宅のパソコンやスマートフォンを通じて参加ができ、発言もできるといったシステムが大概整っているはずですので、そういった企画も合わせてぜひ事務局において展開していただきたいと思います。

●事務局

貴重な御意見をいただきありがとうございます。オンライン開催が可能となれば、どなたでも参加ができるということが1番のメリットだと思います。これらについては、今後様々なイベントの開催がありますので、その中で1番良い方法を模索しながら検討しますので、よろしくをお願いいたします。

○委員

今年開催されました、かたがみ男女共同参画フォトコンテストに審査員として参加させていただきました。とても面白い作品がたくさん応募されており、参加ができて良かったと思っています。ですので、今回のようなものでなくても、こういった企画がまたあれば良いと思いました。

●事務局

かたがみ男女共同参画フォトコンテストは、男女共同参画宣言都市15周年を記念して開催いたしました。皆様から多くの御応募をいただき感謝しています。

毎年、川柳のコンテストを開催している市もございますので、他市町村の事業を参考としながら、今後について検討していきたいと思っております。

○委員

12月4日開催の研修会について、参加申込は現在どのくらいになりましたか。

●事務局

本日(11月17日時点)で12名となっています。皆様におかれましては、御家族やお知り合いの方にお声かけ、お誘いしていただき、ぜひ御参加いただけますと幸いです。

○委員

参加申込状況の実状を踏まえて、他の委員も話していましたが、これから講座や講演会などはリアル参加とオンライン参加のハイブリッド形式にすることで、参加者がおのずと増えてくるのではないかと思います。

特に男女共同参画は周知が足りていないと感じていますので、例えば、先ほどかたがみ男女共同参画フォトコンテストは非常に良い企画だったと話がありました。私は応募者として参加したのですが、投稿された応募作品を見たところテーマから少しズレているようなものもありました。ただ、写真であれば、男女共同参画とはどういったスタイルであるか分かりやすいため、市民に浸透しやすいと思います。研修会ではない方法で浸透しやすいと感じましたので、ぜひ男女共同参画の推進を進めていただきたいと思います。

もう1つ、今回の事業計画案と関係がないものとなりますが、計画の概要版について伺いたいです。ハートフルプランかたがみ2011(第2次潟上市男女共同参画推進計画)とハートフルプランかたがみ2016(第3次潟上市男女共同参画推進計画)には概要版がありましたが、現在の計画の概要版はありますか。

●事務局

今年3月に策定しましたハートフルプランかたがみ2021（第4次潟上市男女共同参画推進計画）の概要版につきましては、パンフレットのような概要版はございません。

本計画の概要版はシンプルな形にして市HPに掲載しておりますので、そちらを御確認いただけますようお願いいたします。

○委員

今はペーパーレス化の時代ですので市HPへの掲載も良いですが、紙媒体で保管しておき時間があれば見るといった人もいると思うので、予算があればぜひ前回の計画までのような概要版を作成してもらえたら、市民の1人として非常にうれしく思います。

○委員

この度初めて委員となりましたので、男女共同参画社会とはどういったものなのか、いまだに考えている最中です。私は農業をやっているのですが、農家・農村では、この社会の実現はまだ遠いとひしひしと感じています。

私に何ができるのか今でも考えているのですが、今回の研修会の内容を見て30年前であれば飛びついて参加するだろうと思いました。農家に嫁いでから、自分の時間が欲しいとずっと言い続けていました。今は育児なども終わったので、そういうふうには感じませんが、若いときからそう感じていました。

こういった研修会には、いつも女性が多く参加するのだと思うのですが、私はもう少し男性の意識を変えるべきだと思っています。こういった研修会や会議に女性が出ると、男性は引いてしまうのではないかと考えているので、やはり男性の意識を変えていかないといけないと思います。そうでなければ、農村ではなかなか男女共同参画は進まないと思います。

また、こういった研修会を市役所で開催するのではなく、各地域で開催して男女共同参画の意識が浸透しやすくすることで、意識が変わるのではないかと、今ふと思いました。こういった場だと緊張してしましますが、地域で開催することで気楽に参加ができるので浸透するのではないかとと思いました。

○会長

先ほど、私から「意欲に応じて」という話をしましたが、意欲をかき立てるための一押しというのでしょうか。少し後ろから支える・押すということも必要だと感じています。今回の研修会は非常に良いものになるのではないかと期待していますので、私も参加させていただこうと思っていました。

○委員

感想のようなものとなりますが、先ほど、事務局から今年度の広報に掲載された男女共同参画に関する記事を紹介していただき、その中に男女イキイキ職場宣言事業所の紹介記事がありました。

男女共同参画については、個人の意識もそうですが、やはり職場の理解も大きく必要かと思えますので、市内にこういった取組を行っている事業者がどのくらいいるか分かりませんが、取り組んでいる事業者をどんどん紹介していただけたら、他の事業者にも波及して良い効果が生まれるのではないかと思います。

○委員

様々な機会を通じて男女共同参画の啓発に努めるとのことで、男女共同参画の推進には非常に良いことだと思うので賛同しているところです。

私の個人的な考え、事業者側の発想となりますが、敬仁会では170名ほどが働いており、その7割が女性となっています。女性なくして職場は成り立たないといった状況です。役職の構成はどうなっているかといいますと、監督者となる主任・副主任である女性は十数名いますが、施設長や事務長といった管理職に女性はいません。そういった点では、世の中の動きから遅れているということが実感としてあり、急いでいるところです。

女性の管理職層を輩出することで、経営の意思決定に対して女性の意見が反映されることによって、非常に働きやすい職場ができると考えています。その結果として働き方改革などが構築されていき、いずれ男女共同参画の推進されやすくなるかと思います。

いずれにしても、こういったきれいな事を話していますが、キャリアパス※や育成制度といったものがないので、まずはそこからと考えております。

※キャリアパス

目標とする職位や職務に就くために設定する、必要なスキルの習得や業務経験の積上げの道筋のこと。

いわゆる、事業者内での異動や昇進のルートのことを指している。

○会長

お気持ちが非常に良く分かります。女性なくして成り立たない医療・介護・保育の世界ですので、人材をより多く集めたいところですが、働きたいけれども働けない方もおり、そういった方々のために保育やインフラの整備をしたいと思っています。

また、これは子育ての分野になるかもしれませんが、市営の保育施設は日曜日と祝祭日が休みでして、ましてや24時間365日稼働している医療や介護を職としている方は、日曜日と祝祭日に子どもを預けることができません。こういった業界で働きたいけれども働けないという方が、少しでも社会に入れるように、育児、保育の分野をより充実していきたいと考えているところです。

○委員

1人の市民として、来年度に向けた計画を確認させていただき、活発的に活動するという事を理解しました。

前回の会議でも思ったことなのですが、実施予定事業が成人向けに考えられているように思

いました。実際のところ、小学生、中学生では男女共同参画についてどのように学習するかは分かりませんが、そういった年齢の人も対象として男女共同参画の研修会をしても面白いと思いました。今回の研修会においても、参加をすれば分かることかと思いますが、演題が大人向けであるために子どもにも参加ができるのか疑問に思いました。

また、今年はオリンピック・パラリンピックイヤーということで、毎日のように報道がされていきました。パラリンピックの中で、世界レベルでは男女という言葉としての区別がなく、ジェンダーレスといった形で各種報道がされていきました。このあとも「男女共同参画」という言葉がずっと続くのか難しい問題だとは思いますが、市民の1人として考えなくてはならないと思います。

男女という区分けについては、様々な報道されておりますし、様々な人がいて潟上市にもいらっしゃるので、そこは丁寧に説明をした方が良いと思っています。

○会長

私も男女共同参画とはどういうことだろうと、最初は思いました。国の政策として、しかも秋田県は特に高齢者の人口が減りつつあり、生産人口もますます減少していく中で、男性、女性だけではなく男女が共同して参画ができることで生産性を生み出す。そういった社会を生み出したいといったところが、根源にあるのではないかと考えているところです。

そういった社会ができましたら、秋田県はこれから高齢者の人口も少なくなりますが、良い郷土になるのではないかと思います。

○委員

様々な意見が出て、勉強させられるなと思っています。

私からも何点かありますが、1つはハイブリッド形式です。こちらは私もすごく賛成しています。やはり勉強したい、受講したい、セミナーに参加したいと思った時に、様々な事情があって外に出かけられない方もいます。介護や育児、身体的に話を聞きたいけれども会場に行けないなど様々な人も含めて、みんなが平等に情報を享受できるような環境を国、県、市が考えていく時に会場へ行かなければいけないと考えるよりは、行かなくても同じ情報を得られるという環境を、これからますます高齢者が増えていくうえで、つくっていけたら良いと思います。

また、男女共同参画ということを考えた時に、意識を変えていきたい・変えていかなければいけないという考えの人がいる一方で、今のままで良いと考えている人がまだまだ多いと思います。規模の大小はあるにしても、男女共同参画関連の研修会をテーマを変えながら数を増やし、男女共同参画というものをよく目にするようにすれば、今のままだも良いと考えている人も参加しなければならないと思うようになるのではないのでしょうか。今の時代はそうではないこと、意識を変えていなければいけないこととして、意識的に向かっていただけだと思います。

後は、実際にハイブリッド形式、オンライン開催をする際に、若い人を含めたスマホ世代であれば使い方に問題はありますが、年を重ねると得手不得手があると思います。そういった人でも使えるようなサポート、それこそパソコンやスマートフォンなどの使い方やオンライン

の入り方に関するセミナーも、年齢別に分けて開催することで、せっかく勉強したのだから参加してみようという気持ちになる人も増えると思います。実際に自分の親ができるかという疑問を感じますが、一緒に参加し家で家族がサポートをすることで、一度覚えたら「もっとやってみたい」「車の運転はできないけれど、家でも外の世界を知ることができる」となるかと思っています。そういう風にして、世の中とつながっている環境づくりを発信していくことが、これからの時代なのではないかと思いました。

○会長

先日、秋田市において高齢者を対象としたスマートフォン教室が開催されたと聞き、私も受講してみたいと思いました。きっと市でも企画をしてくださることかと思っています。

それでは、最後に事務局から連絡事項などがありましたらお願いします。

●事務局

(事務連絡)

- ・12月4日(土)開催の令和3年度潟上市男女共同参画研修会に、ぜひ参加をお願いします。
- ・次回の会議は、来年7月頃の開催を予定。令和3年度の男女共同参画の推進に関する報告について審議を行う予定。

●事務局(企画政策課長)

本日はありがとうございました。皆様から大変貴重なお話を伺うことができました。

本日いただいた御意見の中で、会議や研修会の開催形式のハイブリッド化がありましたが、昨今市役所においても、情報発信のひとつとっても環境が変化してきています。加えて、コロナ禍ということで情報発信のツールも多様化しており、そういった環境がある中で研修会などの参加方法を模索することは、以前よりもしやすくなってきていると思います。個人的には、もしかするとハイブリッド形式でできるのではないかという思いで聞いていましたので、本日いただいた御意見を参考にしてこのあと検討したいと思います。

それから、本日の話を聞いて、ひとつのことでも見方や受取方が様々であると思いました。個人の考えひとつにしても、その時々で考え方も受取方も変わるものだと、個人の中にも多様性があって生きていくのだと感じました。ですので、なおさら何百、何千といる世の中で多様性は数限りなく無限にあり、受取方も様々であると思います。要は、無限にある多様性の中で生きていく中で、ひとつのことに対して嫌な思いをしている人がいるとすれば、そこに配慮ができる社会になってほしい。そういった社会をつくるために我々はどうすべきなのかといった視点で、この会議があれば良いと思っています。それに対して事務局として、行政として、役割を果たせていけたら良いと思っています。

こういった男女共同参画の概念や会議などがなくなり、自然なこととしてある社会が理想郷ではありますが、しばらくはなくならないと思います。少しでも、行政としてそういった社会づくりをしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

○会長

これもちまして、令和3年度第2回潟上市男女共同参画推進審議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時17分 閉会)